

令和4年8月3日

鹿児島県中小企業団体中央会  
会長 小正 芳史 様

鹿児島県PTA連合会  
会長 太田 敬介



鹿児島県連合校長協会  
会長 前田 光久



令和5年3月高等学校等卒業予定者の県内就職促進について（お願い）

平素より高等学校等卒業予定者の就職につきましてはお高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、鹿児島労働局から発表されました令和4年3月卒業生の就職状況によりますと、県内高校生の就職内定率は前年度を0.1%上回る99.5%と引き続き高水準で推移しており、県内就職割合は統計を開始した平成元年度以来初めて6割を超えた60.9%で地元志向が高まったと考えます。関係各位のご尽力に心から感謝申し上げます。

新聞報道によると令和5年度入社の新卒採用に関する企業へのアンケートでは、前年度より増やすとの回答で、回復傾向を示しているが、原油や材料高による先行きの景況は不明で下振れ懸念があり、不透明感があると指摘されています。

また、国においては「未来人材戦略」を公表し、産業構造の変化に伴い能力や技術が変わり、個々の興味を追求できる教育体制の確立が求められています。高校生は、それぞれの夢や目標の実現に向かって、知識・技能の習得に日々励んでいます。すべての高校生が正規の雇用で希望する職種に就き、培ってきた能力を存分に発揮することで、地域の活性化と郷土鹿児島の発展が図られます。

県PTA連合会においても、学校と連携して、高校生活の中で将来の社会生活・職業生活に必要な資質を身に付けることができるよう、望ましい職業観や勤労観の育成、基本的な生活習慣や社会性・規範意識の確立などに取り組んでいるところです。

つきましては、障がいのある生徒も含め、郷土鹿児島の未来を担う前途ある新規卒業予定者が1人でも多く採用されますよう、採用枠の確保やきめ細かな情報提供、早期選考の実施、雇用環境の改善などに一層取り組んでくださいますようお願い申し上げます。